

# 住化・住武相談室だより

第8号 8月10日  
発行 住友化学・住化武田農薬  
お客様相談室 0120-677-088  
発行責任者 古津 昇

i-農力サイト <http://www.i-nouryoku.com/index.html>

## 目次

やさしい農薬の知識(No.1)	
【コーヒーと農薬の散布液】	p.1
知って得する防除の仕方	p.2
IPMの現状と今後(シリーズ⑥)	p.3
雑草よもやま話(8)	p.4
住化アグログループ紹介 (㈱日本グリーンアンドガーデン でんぷん剤シリーズの紹介)	p.5
市場情報No.6 夏野菜「キュウリ」その3	p.6
今月の推進農薬	
「水稻の紋枯病対策について」	p.7
今月の相談内容から	p.8
農薬あれこれなぜなにコーナ	p.9
VOL.4 誰にでもできる楽しい野菜作り	
ハクサイについて(2)	p.10-14
病虫害発生情報	p.14
登録情報	p.15-16
コラム・そば談義	p.16
編集後記	p.17



## やさしい農薬の知識 (No.1)

### 【コーヒーと農薬の散布液】



大きなあくびの後眠気覚ましに飲むコーヒー。農作物にかける農薬の散布液。この比較(?)をしてみましょう。

コーヒーの効果の素はみなさんご存知のカフェインです。コーヒー一杯(約200ml)には100mg程度のカフェインが含まれています。カフェインには、覚醒効果、利尿作用などの薬理作用があり、医薬品として

も利用されています。そんなカフェインは、動物を用いた試験結果から成人での半数致死量は約10gと概算され、劇物に相当します。例えばコーヒー100杯を一気飲みした場合の量です。でも、私も含めて安心して毎日コーヒーを楽しんでいます。ただし、コーヒーを何杯もがぶ飲みすると、カフェインの副作用で頭痛を引き起こす場合があ

るそうです。

いわゆる農作物の薬である農薬は、通常1,000倍に希釈して(農薬1gあるいは1mLを水1Lの割合で希釈)、農作物にほど良く散布します。有効成分を50%含む農薬だと、1,000倍希釈で0.05% (約1L中に0.5gを含有) になります。コップ一杯(200mL)に換算すると100mgとなり、ちょうどコーヒー一杯分のカフェインと同じ量になります。

コーヒーのカフェインは私達たちが嗜好品として楽しむための大事な成分であり、また、農薬も農作物を守るための大切な成

分なのです。隣人が庭に農薬を散布していて間違っただけで少しかけられたけれど、農薬中毒が心配です、という話を聞きます。コーヒーがかかったのと同じだという訳にはいきませんが、もし体にかかったと感じたらすぐに洗い流したり、シャワーを浴びてきれいにすればそれほど心配することはありません。もし、目に入った場合にはすぐに水で十分洗眼して、異常を感じたら眼科に行ってください。(原)

### 知って得する防除の仕方

## 種苗法改正について

種苗法が平成17年6月21日付けで、食用及び飼料の用に供される農作物等(果樹を除く)の種苗であって、農薬を使用した苗については、その旨と使用した農薬の有効成分と使用回数を表示することに改訂されました。

上記表示の苗を生育期に農薬を使用するときは有効成分毎にその農薬の総使用回数から控除した回数になります。これにより、育苗期間中に同じ有効成分の農薬を複数回の散布はしにくくなります。残効性の長い粒剤を使用すると1回苗処理で、育苗期間中の防除と、移植後の効果が期待できます。又、作業面でも育苗期間中の処理は移植作業で忙しい時期を避けられます。

「ダントツ粒剤」はきゅうりで、育苗期

後半に1株当たり1gを株元に処理することにより育苗期間中と移植後にアブラムシ類・コナジラミ類を長期間防除できます。

「ベストガード粒剤」はナスのアブラムシ類に育苗期後半に1株当たり1gを株元の処理します。トマト・ミニトマトのは種時又は鉢上げ時に育苗培土混和でアブラムシ類やコナジラミ類の防除ができます。

レタスの重要害虫であるナモグリバエの防除は育苗期後半に1株当たりベストガード粒剤1gを株元処理で、育苗期間中と本圃での効果的な防除が可能です。花ではペチュニア・パンジー・クリサンセマムの定植前に培土1L当たり3~5g混和処理でアブラムシ類を防除できます。少ない回数で上手な防除ができます。(富樫)



## I PMの現状と今後 (シリーズ⑥)

### 【露地作物のI PMに交信攪乱剤を利用する事例—果樹の例】

#### 【I PMに利用される技術】

今まで施設果菜類で「難防除害虫に天敵農薬を導入し、選択的化学農薬を併用する技術」、露地野菜で「障壁作物などを利用し、土着天敵を保全しながら防除する技術」、また落葉果樹などで「交信攪乱剤を利用し、土着天敵の効果も期待する技術」の概要をかいつままで述べました。これらの技術は、これから各分野でのI PMの中心となり得る技術と考えられますが、実際の場面では農家の人達は、1作期を通じて害虫や雑草を管理（防除）するため、それぞれ中心になるような技術と矛盾をきたすことなく使える技術を適宜組み合わせることで総合的な防除体系を構築する必要があります。

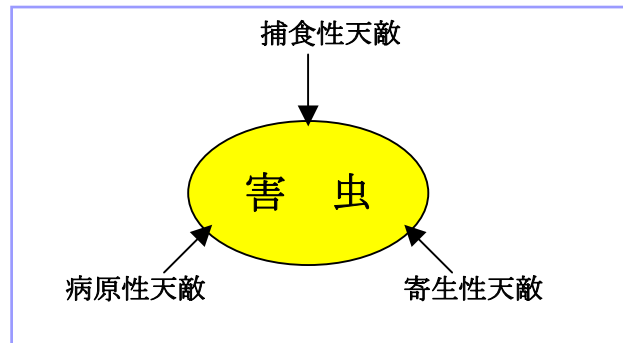
以下では、それらの技術もあわせてごく簡単に触れたいと思います。

#### a. 物理的資材

主に施設で利用される資材が多いと思いますが、害虫類の作物への侵入などをその忌避効果などで減らす資材として、紫外線カットフィルム、シルバーポリマルチ、反射板などが利用されます。また、光を利用してヤガ類などの飛来を阻害する黄色蛍光灯は、熊本県八代市のトマト栽培をはじめ、無袋ナシの吸汁性ヤガの被害回避などで大規模に利用されています。その他に黄色や青色の粘着シートを利用して直接害虫を捕捉する方法や防虫ネットで害虫の侵入を防ぐ方法などもあります。

#### b. 天敵

大別すると、自然界では害虫に対して以下の天敵が働いています。



このうち捕食性天敵（テントウムシやハナカメムシ、カブリダニ類など）と寄生性天敵（アブラバチやツヤコバチ類、天敵線虫など）18種類が現在天敵農薬として登録され（昨年末時点）、施設を中心に利用されています。また、病原性天敵を利用したものとしては、BT剤や糸状菌剤、ウイルス

製剤などがあり、これらは微生物農薬として分類されています。なお、生物的防除として天敵を利用する以外に前に述べた合成性フェロモンの利用や天敵以外の働きをする微生物（拮抗菌など）の利用なども含まれます。（本藤）

## 雑草よもやま話(8)

性能の高い除草剤が数多く開発されている今日でも、防除が困難で難防除雑草と呼ばれるものにクログワイがあります。クログワイと外部形態がよく似た雑草にホタルイ類がありますが、クログワイは茎を指でしごととパチパチと音がします。このため「パチパチグサ」という呼び名もあります。またホタルイ類の茎の先端部（包）は尖っていますが、クログワイの茎の先端は丸くなっており、先端に花が着きますので、見分けるときの参考になります。

クログワイは土中に塊茎（イモ）を作ります。塊茎は深さ15~20cmに最も多く作られ、大きい塊茎ほど深い位置に作られます。大きな塊茎は休眠が深いため出芽が遅れると共に生存年限も長いので、防除上は大塊茎を作らせないことが重要です。塊茎は、はじめは白っぽい色をしています。次第に黒くなります。塊茎の寿命は長く、水田土中で5年間生きていた例もあります。しかし、乾燥には比較的弱く、土壌の表層が乾燥する乾田では、秋から冬の間耕起をすること

により、土壌表層に出た塊茎は乾燥し、死滅します。水田の排水を図り、常湿田を乾田化することによってクログワイが消えた例も報告されています。

塊茎には数個の芽があり、その内の1つの芽が生育しますが、傷付けられたり、除草剤の影響を受けたりすると、次の芽が生育をはじめます。クログワイは深さ30cm

からも芽を出し、水田に水を入れた時から稲刈りの時までダラダラと出てきます。このような性質が除草剤でのクログワイの防除を難しくさせています。

クログワイを除草剤で防除するには気長な防除が必要です。クログワイに有効な除草剤を連年使用すると、塊茎の数は少なく形も小さくなり、比較的浅いところに作られます。浅いところの小さい塊茎

は芽が揃って出てきますので、除草剤の効果も高くなります。

クログワイの塊茎を昔の人は食用にしたそうで、クログワイの仲間であるオオクログワイ（シナクログワイ）の塊茎は今でも中華料理に使われています。（岩崎）



クログワイの塊茎の様子



越冬した塊茎（皮をむくと、多数の芽があることがわかる）。

## でんぷん剤シリーズのご紹介

### 環境にやさしい農薬の紹介

現在、(株)日本グリーンアンドガーデンでは有効成分が「でんぷん」の殺虫剤

- ①粘着くん液剤（100ml）
- ②園芸用でんぷんスプレー
- ③テンネムシトールの3種類の「でんぷん」製品の開発に関わっております。

これらは家庭園芸分野で販売されており①②は住化タケダ園芸(株)、③はレインボー薬品(株)にて取り扱いしています。

①は希釈して使用するタイプですが②③はスプレータイプになっており、希釈しないでそのまま使います。

「でんぷん」だから何？という質問がよく見受けられます。この「でんぷん」は食用に用いられており人間に対する安全性が高く、害虫の気門（呼吸するところ）を封鎖することにより窒息させて退治する特徴を持っています。

散布後、薬剤が乾いたらOKです。約1時間以内には死亡が確認されます。昆虫の気門を封鎖するといっても人間には全く影響あません。「でんぷん」ですので環境中の分解もスムーズに行われ環境にやさしい薬剤です。

最後になりますが、「でんぷん」だからといっても農薬です。ラベルをよく読んでいただき適正に使用しましょう。

自然にやさしい  
デンブンを使った農薬

園芸用  
でんぷんスプレー

粘着くん  
液剤

清めず使用するスプレータイプ。  
デンブンでアブラムシ類、ハダニ類、コナジラミ類を窒息させる。  
速効性(420ml、900ml)  
同じ成分で希釈タイプの「粘着くん液剤」(100ml)もある。

住化タケダ園芸  
<http://www.sumika-takeda-engei.co.jp>

野菜用  
殺虫剤

テンネムシトール

デンブン成分を利用した殺虫スプレー剤。  
デンブンの高い粘着性が優れた効果を発揮。  
食用ラベンダーやバゼリなどにも使用できる(450ml、850ml)。  
広い菜園にはガン形スプレー付きの2ℓが便利。

レインボー薬品  
<http://www.rainbow-f.co.jp>

食品に利用されている「でんぷん」

## 夏野菜「キュウリ」・・・その3

日本エコアグロ(株) 農産商品部 大家 修

### 🍆 キュウリを食べる 🍆

キュウリの魅力は何と言っても、そのシャキシャキとした食感と青臭くも瑞々しい香り、加えて夏にぴったりの濃緑色の色合いにあります。水分が96%も含まれており、所謂、栄養野菜とは言えませんが、ビタミンA・B群、ビタミンCなどのほか、カリウム、マグネシウム、ケイ素などミネラルも含まれています。ケイ素には毛髪と爪の成長を促進する効能がありますし、カリウムには余分なナトリウムの排泄促進や一種の解毒作用もあります。キュウリは古来より渴きを癒し、利尿を促進し、腎臓病などの病気に効くとされ、火傷や炎症によいと言われてきました。となると、お酒の好きな方には良い食材ではないでしょうか。また、サラダや酢の物や漬物にぴったりの味覚ですし、約一本(100g)食べても11Kcalですので美容と肥満対策にもお役に立つ野菜です。

ところで、キュウリは“黒イボ”と“白イボ”に分かれますが、それは果皮のイボにある刺の色で区別されます。当初、寒さに強い“黒イボ”が、春キュウリとして西日本を中心に普及し、一方、夏キュウリとして東日本主体に“白イボ”が広がっていきました。ところが次第に、果実の緑色の鮮やかさに加え、皮が薄く歯切れの良い“白イボ”の評価が高まり、今では市場でも“黒イボ”のキュウリを見ることは殆どできなくなりました。このような夏野菜『キュウリ』を是非召し上がれ！

最後にキュウリの見極め方をお教えしましょう。

#### よいキュウリ

- ① 張りがあって色艶が良いもの
- ② イボがちくちくするもの
- ③ 太りが一様なもの
- ④ 形は曲がっていても、太さが均一なもの
- ⑤ 緑色が先端になるほど薄いもの

#### ダメなキュウリ

- ① 切り口が萎んだように細いもの(押してみてもふかふかするものは要注意!ス入りの可能性大)
- ② イボが潰れているものは鮮度落ち。
- ③ 太すぎるものは種が大きく、味落ちのおそれ。



## 水稲の紋枯病対策について

### リンバー粒剤・バリダシン液剤

紋枯病は収量や品質に及ぼす影響が大きく水稲の3大病害の一つです。その延防除面積は約900千haで水田面積の50%余で防除されております。防除は粉剤、液剤、空散等で行われておりますが、手軽に個人防除ができる粒剤の防除が有ります。

「リンバー粒剤」は住友化学が開発したフラメトピルを有効成分とした粒剤です。紋枯病は越冬菌核が稲株に付着し繁茂するに従って上部葉鞘に伸展し次々と葉鞘や葉を枯らします。葉鞘被害が草丈の半分に達すると12~13%の減収に、2/3に達すると20%の減収と言われますので防除は上位に伸展する前に行う必要があります。

「リンバー粒剤」は紋枯病に優れた効果があります。それは感染源である越冬菌核からの発芽阻害や、稲体に侵入する時に形成する侵入菌糸塊形成阻害作用がありますので、稲体への侵入を阻止します。また、特に菌糸に対する著しい生育及び活性阻害がありますので、予防及び治療（病斑伸展阻

害）効果を兼ね備え残効性が有り、水面施用で吸収移行性が高い薬剤です。1回の水面施用で効果を発揮します。

防除適期は出穂期から1ヶ月前までの幅広い防除適期があります。紋枯病以外に疑似紋枯症の登録があり同時防除ができます。散布は、湛水状態で10a当たり3~4キログラムを均一に散布し散布後3~4日間は湛水状態を保ち、落水やかけ流しは避けれます。

粉剤・液剤及び空中散布は住化武田農薬が開発したバリダシン剤があります。紋枯病のエネルギー源を断ち、散布後直ちに上位伸展を止め治療効果が持続する薬剤です。いもち剤との混合剤での同時防除をお勧めいたします。（富樫）



イネの紋枯病病斑

## 今月の相談内容から

### シルバーリーフの防除について？

#### 質問

トマトのシルバーリーフ（タバココナジラミ）の被害で困っています。



#### 回答

シルバーリーフコナジラミがトマトの葉に多数寄生すると、トマトの果実が収穫時に赤くならず、薄橙色や黄緑色のまだら症状になり収穫後も赤くなりません。品質も低下し商品価値がなくなります。又、排泄物ですす病が発生し黒く汚染します。吸汁の際トマト黄化葉巻病ウイルスの感染もあります。オンシツコナジラミも混ざって発生しますので防除は育苗段階からクリーンな環境で栽培し、育苗期の薬剤防除を徹底

します。は種時にコナジラミ類の登録のある「ベストガード粒剤」を育苗培土に混和するか、または、「ダントツ粒剤」を鉢上げ時に株元処理をして寄生のない苗を仕上げます。本圃では「スミロディー乳剤」「粘着くん液剤」「ダントツ水溶剤」「ベストガード水溶剤」等をローテーション防除で抵抗性を引き起こさないような対応が重要です。ラノーテープが使用できる所では重要な防除方法になります。（富樫）







## 毎日暑いですね。 車内に置き忘れた 農薬は大丈夫？

### ご質問

8月に入って夏本番！ですね。そういえば、先日うっかり、買ってきた農薬を暑い車の中に置き忘れてしまったまま何日か経ってしまったのですが、使っても大丈夫でしょうか？(その農薬自体かなり高温になっていたと思います。) それから、農薬はそもそもどんなところに保管しておくのが良いのですか？アドバイスをお願いします。

### お答え

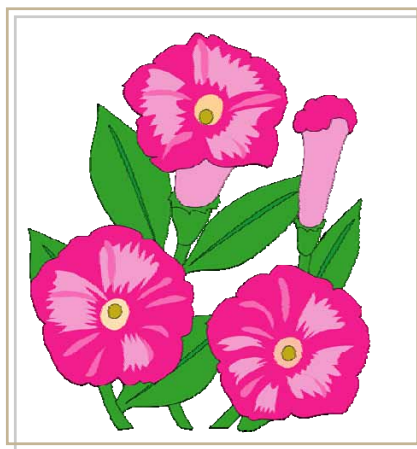
「農薬は、直射日光の当たらない、なるべく低温で乾燥したところに、密封して保管してください。」というのが基本です。

従って、極端な高温や低温の状態に長時間保管するのは、避けてください。

特に乳剤は第2石油類などに指定されておりますので、火気高温には注意が必要となります。

今回のご質問の場合は、車内に置き忘れていたのが数日程度ですし、夜間は当然温度が下がりますので、農薬の成分などへの影響は、ほとんどないと思われます。但し使用される際は、念のため変色・変質(固まっている)等の異常がないかをご確認の上でご使用ください。

(佐伯、稲葉)



## ハクサイについて (2)

### 生理障害も問題

#### 1) 増加したハクサイのゴマ症

原因は亜硝酸の蓄積＝品種によっても抵抗性が異なります。

#### 2) 土壌施用したほう素 (ボロン＝B)

ほう素は酸性で溶出しアルカリ性で不溶性になります。始末が悪い砂質土壌＝通常 0.1～0.2%含有の肥料で良いのに海岸砂丘地など 0.5%も必要とするところもあります。

#### 3) 芯腐れ・縁腐れ

原因はカルシウム欠乏症。石灰類の施用と適湿を保つ。カルシウム剤の葉面散布も重要。



写真4. ハクサイのほう素欠乏の葉

### 4

### ハクサイの栽培適地と適時期

#### 1) 栽培適地は春秋の気候の永い地帯

暖地一般平野部での種適期は秋まきで8月上旬から下旬まで、それ以上の早蒔は耐病性品種を採用。逆に遅蒔きは霜の遅い地帯でないと無理。早まきは軟腐病やウイルス病が多発。東日本では秋作の出荷が本格化する10月20日が価格の変換点。

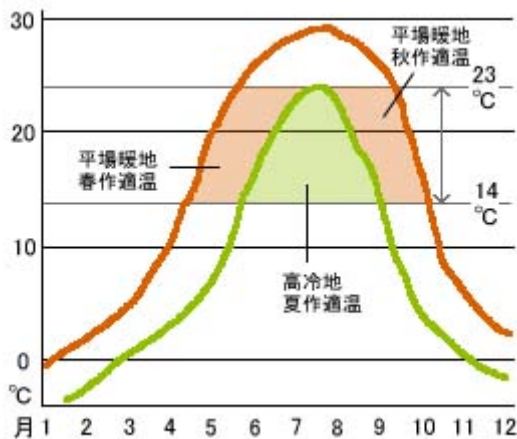


図1. ハクサイ栽培の平均気温での適温範囲  
ハクサイは栽培適温の範囲外では栽培しにくく、栽培の適期と適地は平暖地から高冷地まで分布して、全国的に周年供給が可能になる。

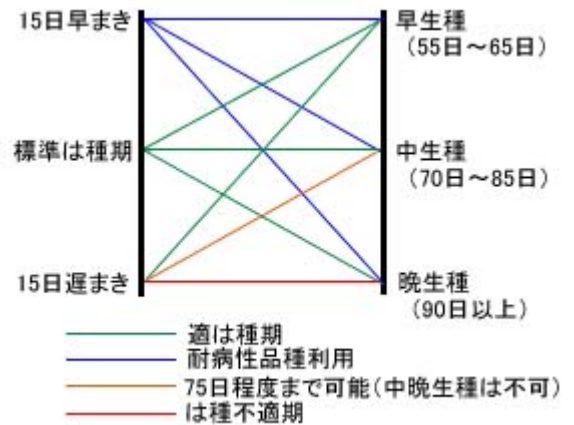


図2. 秋どりハクサイは種期の選定  
特別工夫した栽培でない限り、その地方の秋どりハクサイの適期は最適のは種期からプラスマイナス 15 日の範囲になる。しかし早蒔きや遅蒔きはいろいろな条件を伴ってくる。

## 5 秋ハクサイの一般栽培

### 1) 育苗

ハクサイは種子代が高いことと、直播では病害虫にやられ易いことなどから、育苗するのが普通である。しかし根鉢を崩し易いセル成形苗、短期間の育苗しかできないプラグ苗より、普通のポリポットのほうが育苗しやすい＝ハクサイはキャベツに比較して根が弱いことを十分考えておくこと。同じ大きさのポットであればキャベツより 10 日間は育苗日数は短くなる。10cm (3 寸) 鉢＝キャベツ 30 日可能＝ハクサイ 20 日可能。

別の播種床を作って移植するより、鉢に 2～3 粒蒔いて間引きを行う苗床は有翅アブラムシや風の被害を受けないように背中の方に防風障を建てる。定植適期を外さない＝本葉 2～3 葉以降は急速に生長する。根鉢を崩さないように定植する。

### 2) 栽植密度

10a あたり、畦巾 60cm (120cm で 2 条だきうね) または 80cm、株間 30～40cm で 3000～5500 株程度になる。最近では核家族で余り大球は喜ばれないので、4000～4500/10a 程度が無難。

### 3) 一般圃場管理

早蒔き早穫りのほうが収入多いことから、どうしても無理をして早蒔きになりがちです。

栽培している品種は早生で丈夫な耐病性品種ですか？ 高畦排水は十分考えていますか？ スターナ水和剤（軟腐病の特効薬）は、収穫7日前までに3回散布できます。計画的な散布は大丈夫ですか？ キャベツ同様初期に十分外葉を張らすのが増収の早道です。追肥を設計に繰り込んだ栽培では、追肥の時期を遅れないように。

6

## ハクサイの肥培管理

### 1) 栽培生理から考えて

ハクサイは本来キャベツと同様の吸肥パターンをたどり、まず外葉をのびのび育てることが必要。大きく異なることは25℃以上の高温に弱く、また根が基本的に弱いことです。目標単収は8トン/10a（キャベツは6トン/10a）と生産能力は大きいものがあります。ハクサイはほう素欠乏に弱く、多くの畑では0.1%~0.5%入りのほう素含有肥料を使用するのが普通。品種によってほう素欠乏症状の出やすいものと出難いものがあります。昔、農家で家畜を飼っていた時代は、ほう素欠乏症は非常に少なかった。

### 2) 住友化学製の肥料を利用した施肥法

住友化学の従来施肥法は、何れもほう素を0.2%含有する、「このはな印UF化成」を元肥にし、「硝燐加特2号」を1回追肥する方法で問題なく経過してきました。

### 3) 一発施肥では住化の「SSR」肥料

しかし全量施肥の一発施肥では、やはりほう素を0.2%含有する、被覆尿素等の配合のSSR肥料が発売されました。

### 4) 特別な早春出し栽培

淡路島などの早春出しには、「スミカエース1号」と「EXスミカエース14」の組み合わせで、全量元肥の3月出し（立毛のままの圃場貯蔵）の色の良いハクサイ栽培に成功している。従来「スミカエース1号」や「EXスミカエース14」は、ハクサイに不適と考えられていたが、利用法で大きく発展。

表1. ハクサイのいろいろな施肥法

施肥の方法	元肥+追肥 元肥「このはな印UF化成」追肥「硝磷加特2号」	一発施肥 (SSR) 全量元肥「葉菜根菜072L」	一発施肥 (DCS入り) 全量元肥「スミカエース1号」+「EXスミカエース14」
用途と特長	いずれの肥料もほう素を0.2%含んでいるので、安心して栽培ができます。 また「このはな」は若干の緩効性肥料を含み、「硝磷加」の硝酸態は全チッソの1/4でマイルドです。	ほう素欠乏症状が出やすい地帯のダイコンやハクサイの全量元肥栽培用に設計されたスーパースマコート肥料で、各時期に効果をあらわす被覆尿素が上手に配合されています。	淡路島のような3月頃まで畑に立ち毛貯蔵をして、しかも青々したみずみずしいハクサイを出荷する為の特殊設計。「EX14」のDCS「1号」でやや薄まるがハクサイ栽培にはちょうど良い。
使用法	まず石灰資材や堆肥を散布し荒起こしをしたあと、「このはな印UF化成」10aあたり7袋(140kg)を全園に散布し全層によくすき込みます。 追肥は結球始め期に3袋(60kg)を外葉を傷めないように畦間に施用します。NPKは(32.0-18.8-28.0)、B=0.2%/袋	まず石灰資材や堆肥を散布し荒起こしをしたあと、「葉菜根菜072L」を10aあたり6~7袋(120~140kg)を全園に散布して全層によくすき込みます。 追肥の必要はありません。全NPKは(24.0-20.4-14.4)~(28.0-23.8-16.8)となります。	まず石灰資材や堆肥を散布し荒起こしをしたあと、「スミカエース1号」2袋(40kg)と「EXスミカエース14」14袋(210kg)を同時に全園に散布し全層によくすき込みます。全NPKは(36.6-33.4-35.0)となります。
注意点	海岸砂丘地や、砂土の場所ではほう素(B)をこれ以上加えます。火山灰土壌のような磷酸吸収係数の高いところでは、磷酸分を加えます。	3要素の中では磷酸・カリが少なく特にカリが欠乏しています。今多くの畑がカリ過剰ですが、ハクサイは栽培後期にかなりカリを吸収しますので、連用地ではカリ補給を。	火山灰土壌のような磷酸吸収係数が高いところでは、磷酸分を加えます。また「スミカエース1号」はほう素を含まず、「EX14」も0,1%含有ですから欠乏地帯では補給を。

## 病虫害対策、特に大敵は軟腐病

### 1) 栽培生理から考えて

- ハクサイの病害 軟腐病・・・薬剤使用も効果があるが、その地方の作型で早まきし過ぎない、耐病性品種を栽培する、高畦栽培を行う、などの耕種的防除も重要である。薬剤ではスターナ系（オキシリニック酸含有）やバリダシン液剤の効果が大きい。無機銅剤は予防的効果が主。白斑・黒斑病・・・通常の葉散（ダコニール・ジマンダイセン等）で防除可能。モザイク病・・・有翅アブラムシの密度の高い場所、早蒔きで発生が多い。
- ハクサイの虫害 コナガ・アオムシ・ヨトウムシ・ハスモンヨトウ・アブラムシ

（I－農力掲載の肥料部資料より）

## 病虫害発生情報

7月～8月初旬に各県の病虫害注意報・特殊報から、主要なものをお知らせします。

### 水稲

- 斑点米カメムシ類：青森・岩手・秋田・宮城・山形・新潟・富山・石川・福井・岐阜・京都・奈良・鳥取・島根・広島・山口・徳島・愛媛県。  
宮城県は、7月26日付けで警報も発令。  
（イネカメムシ：三重県、6月：鹿児島県）  
粒剤で防除できるダントツ粒剤、散布剤のスミチオン、ダントツ粉剤・水溶剤などの薬剤で、徹底した防除に努めてください。
- トビイロウンカ：長崎県
- セジロウンカ・ツマグロヨコバイ：新潟県  
ダントツ剤で、カメムシ類との同時防除が可能です。
- いもち病：北海道・長野県  
ブラシン剤、デラウス剤での防除をお勧めします。
- 紋枯病：広島県・鳥取県  
バリダシン剤、リンバー剤での防除をお勧めいたします。



### かんきつ

- かいよう病：和歌山・愛媛・佐賀・長崎・宮崎県（6月：熊本県）  
バリダシン液剤をローテーション防除の一剤に加えた防除を実施してください。

### 野菜・花き類

- オオタバコガ：山梨・長野県  
プレオフロアブルが、トマト・ピーマン・なす・キャベツ・はくさい・レタス・きくで登

録があります。

エスマルクDF、フローバックDF、ゼンターリ顆粒水和剤などのBT剤が野菜類で、エスマルクDFはきくでも登録があります。

○シロイチモジヨトウ：群馬県、大分県（白ねぎ）

プレオフロアブル・フローバックがねぎで、ゼンターリ顆粒水和剤が野菜類で登録があります。

(稲葉)

## 登録情報

7月20日、8月3日付の適用拡大です。

◎ダントツ粒剤

★稲（箱育苗）：イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ／育苗箱1箱当り 50g／移植3日前～移植当日／1回／育苗箱の苗の上から均一に散布する

★かんきつ（苗圃）／ミカンハモグリガ／

10～20g/樹／育苗期／3回以内／株元散布

◎ダントツ箱粒剤

★稲（箱育苗）：フタオビコヤガの追加

◎ダントツH粉剤DL

★稲：イネツトムシ／3～4kg/10aの追加

◎ダントツフロアブル

★稲：イナゴ類／5000倍／散布の追加

◎ロディー乳剤

★ししとう：ハダニ類／2000倍／収穫前日まで／3回以内／散布

◎アグロスダイアジノン水和剤34

★ネクタリン：シクイムシ(1000倍)、クロコカイガラムシ若齢幼虫・ハマキムシ類・アブラムシ類(1000～1500倍)／収穫21日前まで／3回／散布

◎リゾレックス

★ししとう：白絹病／1000倍／収穫前日まで／1回／株元灌注(1リットル／1㎡)

◎武田ダコソイル

★使用量変更・麦類（秋播）／全面施用土壌混和／20kg/10a → 20～30kg/10a

◎クレマート乳剤

★とうがん：畑地一年生雑草／定植前（雑草発生前）／砂壤土～埴土／10a当り薬量200ml／10a当り希釈水量100～150リットル／1回／全域／全面土壌散布

◎セレクト乳剤

★キャベツ：畑地一年生イネ科雑草／雑草生育期(イネ科雑草3～5葉期)収穫30日前まで／使用薬量50～75ml/10a／使用希釈水量100リットル/10a／1回／雑草茎葉散布／全域

★てんさい・かんしょ適用地域変更 北海道→全域

◎ゴヨウダジャンボ

★適用地帯の追加 ・全域の普通期及び早期栽培地帯へ拡大

★適用土壌の変更 ・壤土～埴土→砂壤土～埴土



★雑草の追加 ・シズイ／東北

◎アグロスクリンチャー 1 キロ粒剤

★移植水稻の適用地帯のうち東北について

・使用時期(10a 当り使用量 1kg)を移植後 7 日～ノビエ 4 葉期まで(但し収穫 40 日前まで)に変更

・使用時期(10a 当り使用量 1.5kg)を移植後 25 日～ノビエ 5 葉期まで(但し収穫 40 日前まで)に変更

◎テイクオフ粒剤

★使用時期の拡大 ・関東・東山・東海、近畿・中国・四国／移植後 10～25 日 (移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用)

◎武田ハービー液剤

★しそ・はすいも (葉柄) / 畑地一年生雑草 / 雑草生育期畦間処理 (しそ: 収穫 14 日前まで、はすいも: 収穫 7 日前まで) / 薬量 300～500ml/10a / 希釈水量 100～150 リットル/10a / 2 回以内 / 雑草茎葉散布

(稲葉・佐伯)

## コラム・そば談義

恒例のテニス合宿に軽井沢へ行って来た。昨年同様、呆れ顔の女房を横目にそば打ち道具一式を車に積み込み、朝早く仲間とともに浅間山を目指して車を走らせた。

今年は、幹事さんの粋な計らいで「そばを食べながら雅楽を楽しもう」という企画が加わった。我が部は年配者が多いためテニスだけでは参加者が集まり難い。そこで役員さんが色々イベントを考えて参加者を増やそうと苦労されている。

さて、宿に着くと早速、蕎麦打ちに取り懸かり、なんとか昼前には打ち終える。心配していた蕎麦も何とか繋がり、これならと思い食堂のテーブルに着く。しかし、茹で上がった蕎麦はかなり短くて愕然となる。仲間からは手打ち蕎麦は短いものなのかと真顔で言われて赤面した。今も思い出すと恥ずかしくて冷や汗がでる。

一方、横笛を演奏する上野さんは由緒ある雅楽の家系ということもあり、失礼な言い方で申し訳ないが、普段は少し頼りないように見えるが、演奏前になるとがらりと

雰囲気が変わり、笛を持った顔付きは一種異様なぐらい真剣で皆が「ホー」と思ったぐらいである。演奏も雰囲気にはたがわず横笛からの音色は迫力がありすばらしいものであった。本人が「雅楽を演奏しているときに、一番遣り甲斐があり充実している」と云った言葉に皆が納得し頷いたものである。余談だが、お兄さんは流派がちがうが、今人気の東儀秀樹さんとその道では人気を二分するプロの奏者とのこと。

さて、何かに打ち込んでいる方は、それを実行する段となると、今までの雰囲気がガラリと変わり、その人からオーラが出ていると思うぐらい真剣になれる人がいる。私も、お客様相談室業務でもそば打ちでもよいのだが、精進して早く自分のものにして、周りの人から「顔付きが違うようになった」と言われるぐらいなりたいと密かに思っているのだが・・・。(古津)



[編集後記]

東京でも気温が 30℃を超える猛暑が続いている。

先月号の編集後記に、梅雨明けはスカッといきたいものだと云った言葉が、本当になり、毎日飲むビールは美味しいのだが、人間の手前勝手と重々承知の上で、もう少し涼しくなって欲しいと、夏ばて気味のためか気弱な気持ちになる。

さて、「相談室だより」の読者をもう少し増やしたいと考えている。そして、相談室だよりを読んで頂いている方から色々な情報やご要望をお聞きして本紙を盛り上げていければと思う。そのために、何か企画をしたいと考えていますのでその節はよろしく願いいたします。

表紙の挿絵「チシマギキョウとライチョウ」 技術顧問 富樫氏作

